

2026年3月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

真心こめた『みち』への挑戦 ～安心と感動を～

1 企業概要

2 2026年3月期第2四半期決算概要

3 2026年3月期業績予想

4 サステナビリティの取り組み

1

企業概要

会 社 名	株式会社佐藤渡辺 / WATANABE SATO CO., LTD.
-------	------------------------------------

創 業 ・ 創 立	創業：1923年（大正12年）渡辺組（個人営業） 創立：1938年（昭和13年）株式会社渡辺組
-----------	--

本 社 所 在 地	東京都港区南麻布一丁目18番4号
-----------	------------------

代 表 者 名	代表取締役社長 鎌田 修治
---------	---------------

資 本 金	17億5,150万円
-------	------------

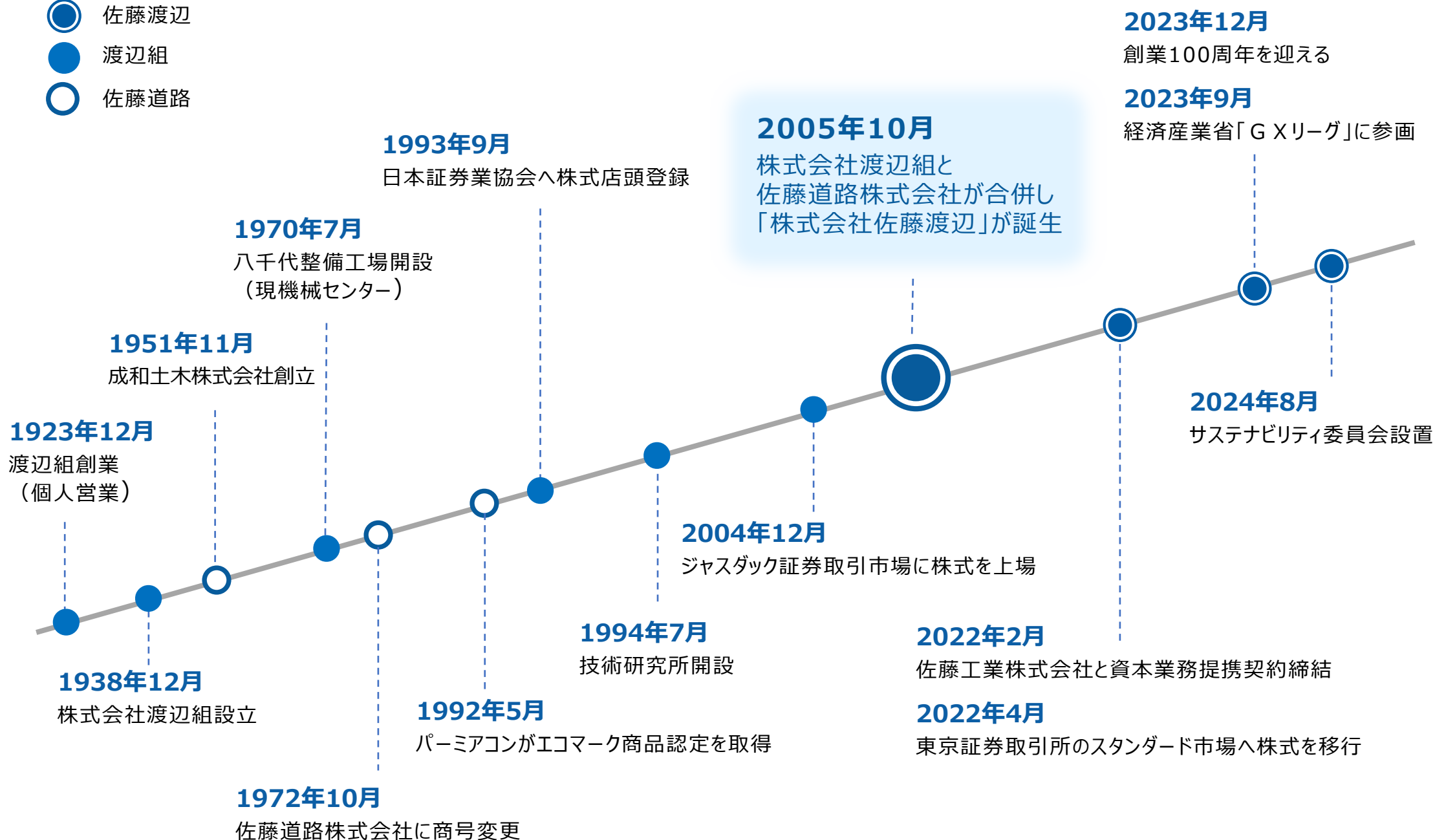
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：1807）
---------	------------------------------

従 業 員 数	531名（2025年3月31日現在）（連結）
---------	------------------------

支 店	東北（宮城県仙台市）、関東（東京都港区）、施設工事（東京都港区）、 中部（愛知県名古屋市）、北陸（富山県富山市）、近畿（兵庫県三田市）、 中国（広島県広島市）、四国（香川県高松市）、九州（福岡県糟屋郡新宮町）
-----	--

グ ル ー プ 会 社	あすなろ道路（株）（北海道札幌市）、（株）弘永舗道（青森県弘前市）、 （株）創誠（福島県石川郡石川町）、小石川建設（株）（東京都練馬区）、 SWテクノ（株）（東京都町田市）、拓神建設（株）（神奈川県横浜市）
-------------	---

- 佐藤渡辺
- 渡辺組
- 佐藤道路



パーパス

真心こめた『みち』への挑戦 ～安心と感動を～

私たち佐藤渡辺グループが目指すのは、すべての人々が安全・安心に暮らし、未来へとつながる『みち』を提供することです。

『みち』とは、私たちが整備を担う道路だけではなく、人々の生活を支え、地域をつなぎ、経済社会の発展を支える大切な基盤となるものです。

私たちはこれからも、経営信条および社是を大切にし、道をつくる仕事に真心を込め、未知へ挑戦することで、すべての人々と社会に安心と感動を届ける存在であり続けます。そして、未来をともに築くパートナーとして、ステークホルダーの皆様とともに歩んでまいります。

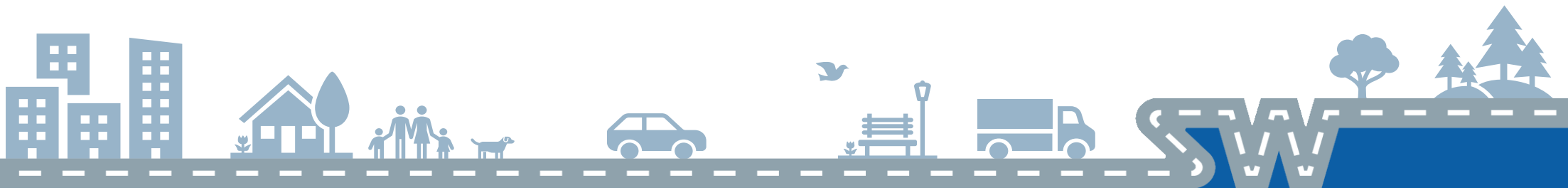
経営理念

経営信条

社会の求めるものに応えることを通し、社会に奉仕する。
このため会社はその存続発展をはかるに足る相応の利益を
挙げる。

社是

誠実 創造 最高の技術



事業内容

建設事業

工事部門	舗装・土木工事等	公共工事	・高速道路 ・一般道路 ・トンネル ・空港 ・港湾
		民間工事	・東京ガスネットワーク ・物流施設 ・都市空間事業 ・建築外構
	環境景観工事	コンクリート系舗装	・パーミアコン ・サーモスカラー
		雨水貯留浸透・流出抑制工法	・リ・タンスイシステム
		ウォータージェット工法	・ハイドロミリング
		木質系舗装	・ウッドクリート ・インターウッド
		アスファルト系舗装	・ポリシングペーパー ・エク・シェル
		樹脂系舗装	・デカラペーパー
		緑化	・ザッソレス
	建設資材の製造および販売		・アスファルト混合物 ・S Wヒートミックス ・改良土
	産業廃棄物処理事業		・アスファルト塊 ・コンクリート塊

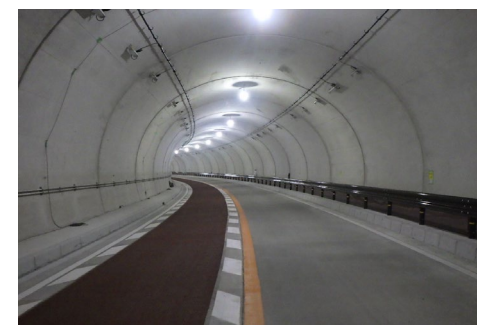
製品等販売部門

● 高速道路



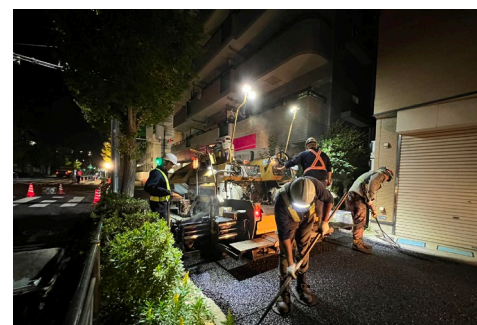
東北自動車道 菅生スマートIC舗装工事

● トンネル



名塩道路城山トンネル舗装工事

● ガス復旧



道路復旧工事(低圧)

● 国道（舗装修繕）



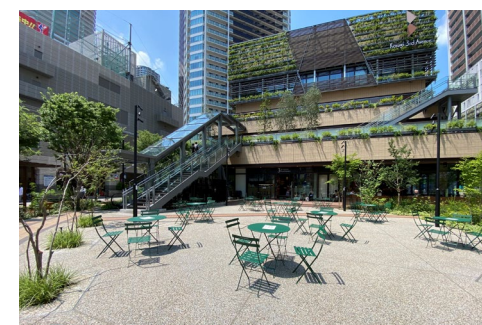
令和元年度19号丸の内地区舗装修繕工事

● 物流施設



(仮称)AVL海老名特定流通業務施設計画

● 建築外構



商業施設（東京）

- 近年、記録的な猛暑や豪雨、強い台風などが次々と発生し、気候変動に伴う自然リスクが高まる中、当社では、「すべての人々が安心・安全」に暮らすことができる製品開発に取り組んでいます。

パーミアコン

日本初の透水性コンクリート舗装



- 優れた透水機能により雨水を地中に浸透・還元
- 雨水貯留浸透機能が都市型河川氾濫を防止
- アスファルト舗装に比べ表面温度を低減し、ヒートアイランド現象を抑制

ウッドクリート

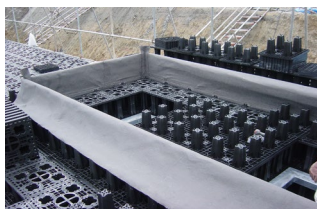
廃材を使用した高耐久のセメント系木質舗装



- 間伐材・建設廃材を使用／地産地消
- 秋田県・富山県 リサイクル製品認定
- 「ぐんまの木製品」取扱事業者登録証

リ・タンスイシステム

業界トップクラスの強度を誇るプラスチック製雨水貯留槽



- 高い雨水貯留浸透機能により都市型洪水の防止
- 高強度かつ優れた耐震性を誇りレベル2相当（阪神・淡路大震災等）の地震動に対応
- 容器リサイクル法に基づく家庭ごみのプラスチック材を原料として再利用（エコマーク取得）

ハイドロミリング

最先端の水噴流技術を利用したウォータージェットシステム



- 水の力でコンクリートを削り、剥がすことで衝撃によるマイクロクラック、騒音および粉塵の抑制となる
- 多種多様なコンクリート構造物に対応し、効率的なコンクリート除去が可能
- コンクリートの除去残りが低減され、除去面の品質向上を確保



売上高
(2025年3月期)

404億円

営業利益
(2025年3月期)

11億円

営業利益率
(2025年3月期)

2.9%



年間配当金額
(2026年3月期予想)

80円

配当利回り
(2025年3月期)

4.9%

配当性向
(2025年3月期)

55.9%



従業員数
(2025年3月期) (単体)

464名

男性 394名、女性 70名

平均年齢
(2025年3月期) (単体)

43.9歳

平均勤続年数
(2025年3月期) (単体)

19.1年

2**2026年3月期第2四半期決算概要**

- 政府による国土強靱化の推進や、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進展しており、ライフラインの強靱化や地域の防災力強化を目的とした公共投資は堅調に推移
- 民間設備投資は、金利上昇や資材価格の高騰により、一部で慎重な動き
- 建設資材の価格高騰や人材の不足により、コスト管理や効率的な施工体制の構築が重要な課題となっており、さらに環境配慮型の建設技術や資材の導入が求められる



“変革と学習文化の醸成および持続可能性への取り組み”をテーマとする
中期経営計画（2024～2026年度）に掲げた3つの基本方針を推進

- 1 収益力の向上
- 2 資本・財務戦略の強化
- 3 E S G 経営の推進

2026年3月期第2四半期決算概要（連結）

- 売上高は、前期からの繰越工事を中心に進捗を図ったが、一部大型工事の進捗が遅れたことにより、対前年比で減少。
- 売上総利益は、建設資材や労務費の価格高騰があるものの、原価管理の徹底による採算性の改善などにより、対前年比で大きく増加。

（単位：百万円）

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	対前年増減	増減率	通期業績予想	進捗率
売上高	16,109	16,135	15,159	▲976	▲6.0%	37,000	41.0%
売上総利益	1,368	852	1,053	200	23.5%	—	—
売上総利益率	8.5%	5.3%	6.9%	1.6pt	—	—	—
販売費及び一般管理費	1,165	1,194	1,193	▲1	▲0.1%	—	—
営業利益	202	▲342	▲139	202	—	1,200	—
営業利益率	1.3%	—	—	—	—	—	—
経常利益	240	▲262	33	295	—	1,300	2.6%
当期純利益	155	▲250	21	271	—	850	2.6%

2026年3月期第2四半期受注高・繰越高（連結）

- 受注高は、工事部門では、2025年3月25日付で国土交通省関東地方整備局から建設業法第28条第3項の規定に基づく営業停止処分（2025年4月9日から2025年8月6日までの120日間）を受けた影響により、対前年比で大きく減少。
一方、製品等販売部門は、原材料価格の販売価格への転嫁が進んだことにより、対前年比で増加。
- 繰越高は、前期からの繰越工事を中心に進捗を図ったことや受注高の減少により、対前年比で大きく減少。
- 第2四半期までの遅れを挽回すべく、効果的な技術提案や技術職員の適正配置により、官公庁発注工事や高速道路関連の大型工事受注を目指す。

【受注高】

（単位：百万円）

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	対前年増減
工事部門	21,229	15,355	10,443	▲4,911
舗装工事	17,746	12,803	8,255	▲4,548
土木工事等	3,482	2,551	2,188	▲363
製品等販売部門	2,117	1,946	2,303	357
合計	23,347	17,301	12,747	▲4,554

【繰越高】

（単位：百万円）

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	対前年増減
工事部門	22,469	23,230	14,507	▲8,722
舗装工事	19,111	20,345	12,244	▲8,100
土木工事等	3,357	2,885	2,262	▲622

2026年3月期第2四半期連結財政状態

- 売上債権の減少は、進行中の大型工事の進捗が想定より遅れたことおよび売上債権の回収が進んだことによる。
- 仕入債務の減少は、売上総利益率の改善により仕入コストの削減・効率化が進んだことおよび受注高の減少による。
- 純資産は、その他有価証券評価差額金および利益剰余金の増加による。

(単位：百万円)

資産の部		2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	対前年増減
流動資産	現金預金	4,442	4,548	105
	売上債権	10,793	9,612	▲1,181
	未成工事支出金	1,789	1,898	109
	その他の棚卸資産	211	214	2
	その他	446	346	▲100
	計	17,682	16,619	▲1,063
固定資産	有形固定資産	9,902	9,722	▲179
	無形固定資産	305	228	▲77
	投資その他の資産	4,068	4,647	578
	計	14,276	14,598	321
資産合計		31,959	31,217	▲741

負債の部		2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	対前年増減
流動負債	仕入債務	6,685	4,114	▲2,570
	短期借入金	16	800	783
	未成工事受入金	561	590	28
	その他	903	912	8
	計	8,167	6,417	▲1,750
固定負債	長期借入金	0	0	0
	その他	3,339	3,257	▲82
	計	3,339	3,257	▲82
負債合計		11,507	9,675	▲1,832
純資産		20,451	21,542	1,091
負債・純資産合計		31,959	31,217	▲741

2026年3月期第2四半期連結キャッシュフロー

- 営業活動によるC Fは、売上債権の回収が進んだことにより、対前年比で大きく増加。
- 財務活動によるC Fは、短期借入れの返済により、対前年比で大きく減少。
- 現金及び現金同等物の期末残高は、今後の事業運営において適正な水準を維持。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
営業活動によるC F	3,560	▲2,304	1,969
投資活動によるC F	▲213	▲363	▲183
財務活動によるC F	▲360	▲512	▲2,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額	3,174	▲3,180	▲482
現金及び現金同等物の期末残高	7,976	4,442	4,548

3

2026年3月期業績予想

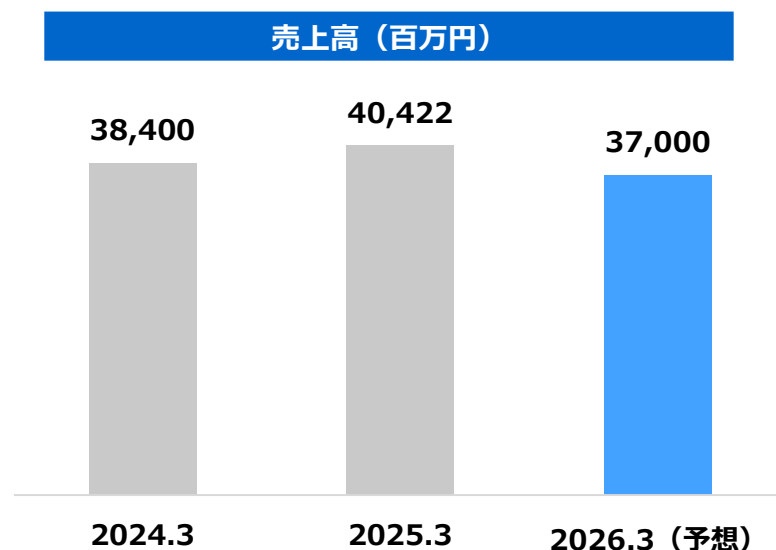
2026年3月期業績予想（連結）

- 売上高は、国土交通省関東地方整備局から、建設業法第28条第3項の規定に基づく営業停止処分を受けた影響もあり減少となる見込み。
- 営業利益は、工事部門においては、原価管理の徹底、労働生産性の向上、製品等販売部門においては、販売価格と製造コストの適正化により利益率の向上を目指す。

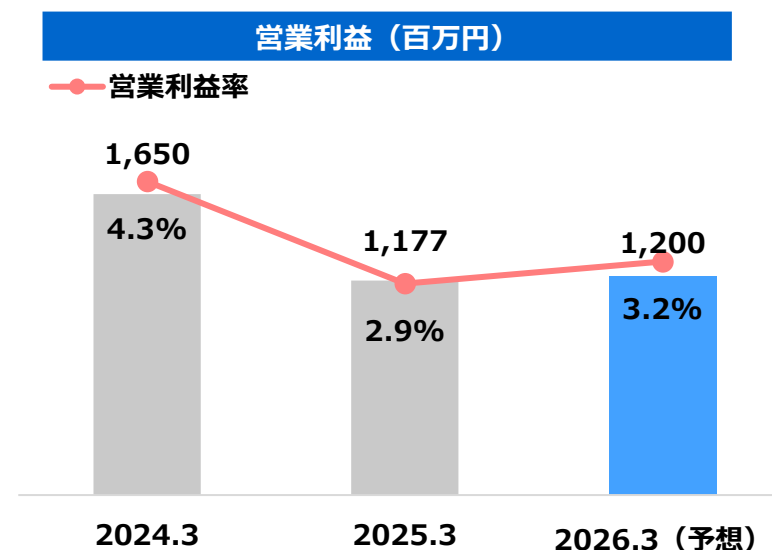
（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)	対前年増減	増減率
売上高	38,400	40,422	37,000	▲3,422	▲8.5%
営業利益	1,650	1,177	1,200	22	1.9%
営業利益率	4.3%	2.9%	3.2%	0.3pt	—
経常利益	1,764	1,328	1,300	▲28	▲2.1%
当期純利益	1,202	891	850	▲41	▲4.7%

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



- 2026年3月期の配当予想額は期初計画通りの80円
- 配当方針
 - ・2024～2026年度の3年間は年間配当80円以上を実施
 - ・EPSを増大させ、配当を長期安定的に継続
- 自己株式取得は、株式流動性や成長投資の成果等を勘案した上で検討

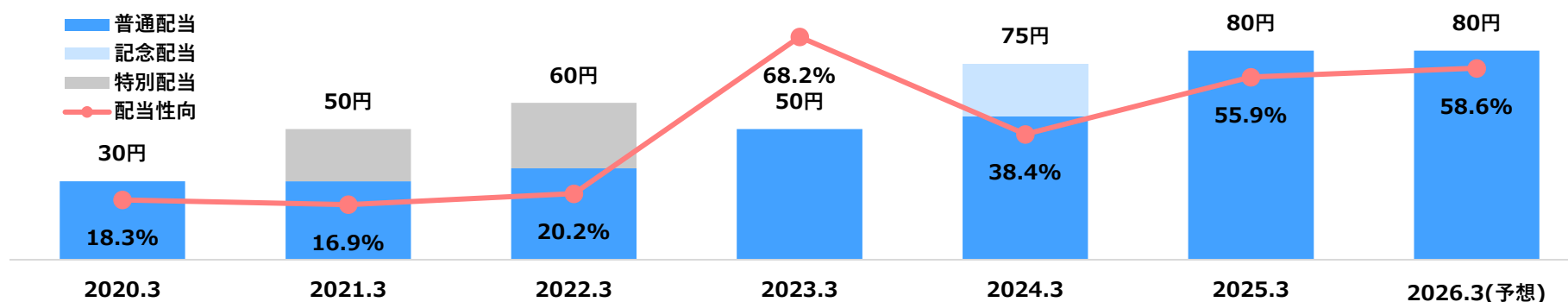
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期 (予想)
中間配当金	—	—	—	—	—	40円	40円
期末配当金	30円	50円	60円	50円	75円	40円	40円
年間配当金	30円	50円	60円	50円	75円	80円	80円
配当性向	18.3%	16.9%	20.2%	68.2%	38.4%	55.9%	58.6%

※1 2024年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、配当金を記載しております。

※2 2021年3月期に20円、2022年3月期に25円の特別配当を含みます。

※3 2024年3月期に20円の創業100周年記念配当を含みます。

1 株当たり年間配当金の推移



4

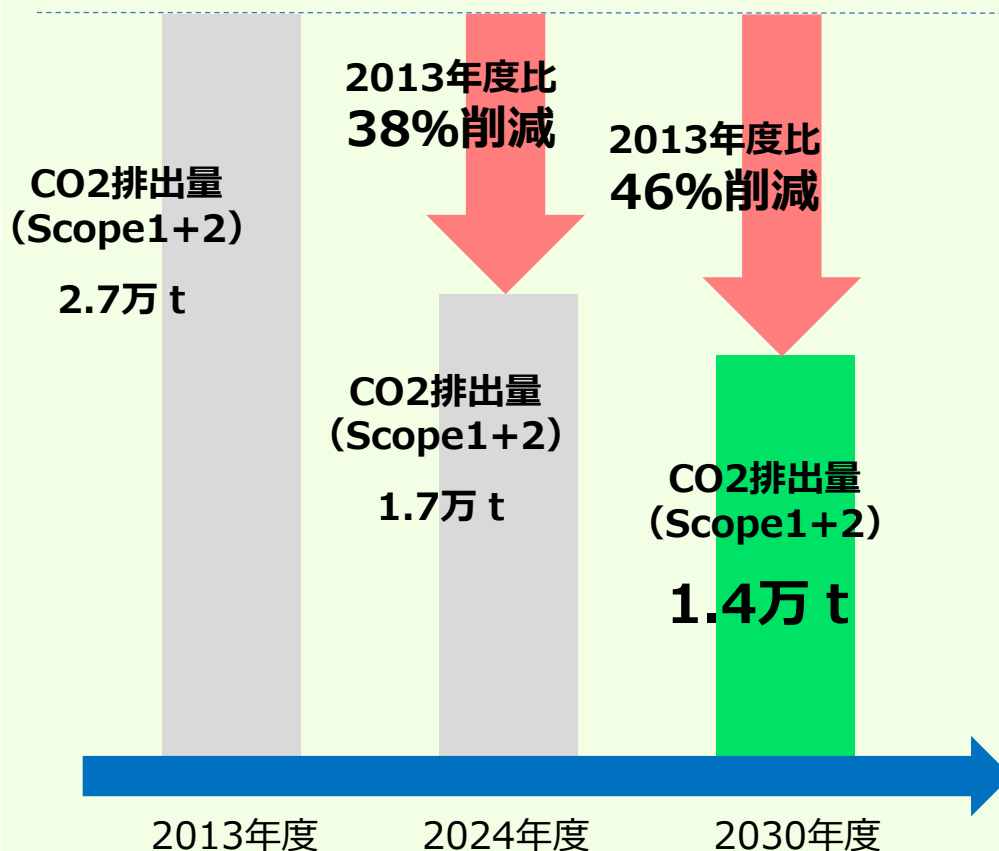
サステナビリティの取り組み

E : Environment

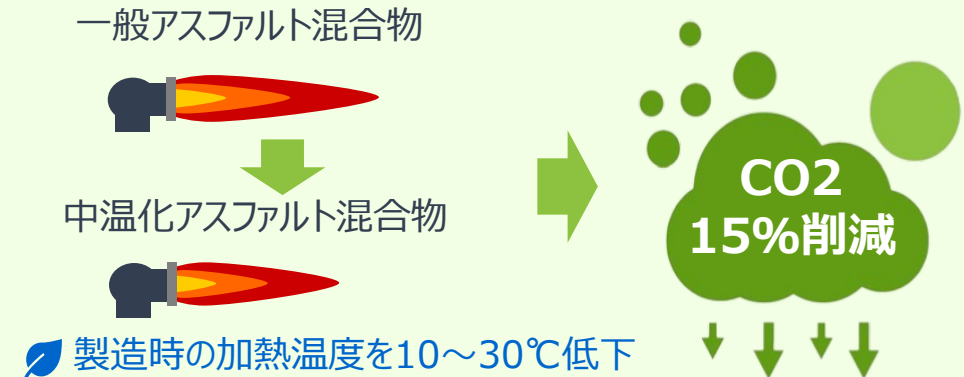


- 脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用や省エネルギー技術の導入を進め、環境負荷の低減に取り組んでいます。

● CO2排出量と2030年度削減目標(Scope1 + 2)



● 中温化アスファルト混合物の使用促進



● CN都市ガス、グリーン電力および再生可能エネルギーの利用



自家消費型太陽光発電

S : Social



- 社員の成長を支える教育や働きやすい環境の整備、多様性を尊重した人材戦略を推進し、従業員エンゲージメントの向上を通じて、さらなる企業価値の向上を目指します。

シニア職制度の廃止

- 高年齢職員の能力発揮の促進や組織全体の活性化



福利厚生¹の拡充

- オフィスでYASAI導入
- chocoZAP法人会員制度



役員と女性社員による意見交換会

- 女性の活躍推進、女性目線による職場環境の改善



役員と女性社員による意見交換会



女性安全パトロール

2024年度実績

2026年度目標

新卒採用者のうち
過去3年間の女性採用率

19.1%

20.0%以上

新卒採用者の定着率

86.7%

90.0%以上

管理職に占める
女性社員の割合

4.2%

3.0%以上

ダイバーシティの推進

- フィリピン人材育成事業参画による特定技能外国人の受入れ

G : Governance



- 透明性のある経営とリスク管理を徹底し、信頼される組織を目指してガバナンス体制を強化しています。

ステークホルダーからの信頼回復

福島県石川郡石川町が発注する工事の入札に関し、談合罪で当社従業員が略式命令を受け、その刑が確定したことにより、2025年3月25日付で国土交通省関東地方整備局から、建設業法第28条第3項の規定に基づく営業停止処分（2025年4月9日から2025年8月6日までの120日間）を受けました。

当社といたしましては、この度の処分を厳粛かつ真摯に受け止め、役職員一同、さらなるコンプライアンスの徹底に取り組み、早期の信頼回復に努めてまいります。

取締役会を中心とする ガバナンス体制の強化

- 女性取締役選任による取締役会の多様性の向上
女性取締役比率 16.7%
- 取締役に必要なスキル等の整理
株主総会招集通知等におけるスキルマトリックスの開示

IR担当部署の設置

- 経営企画室としており、関連部署と協力のもと正確かつ迅速な情報開示に向けた体制を構築



株式会社佐藤渡辺

お問い合わせ先

経営企画室

TEL 03-3453-7211

URL <https://watanabesato.co.jp>

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の経済環境・事業環境等の変化により、異なる結果となる可能性があります。

また、本資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。